

目標達成計画

作成日: 平成 31 年 3月18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する期 間
1	6	身体拘束はしていないが、スピーチロックをしてしまう場面が見受けられるため、理解と別の言葉での言い回し、気持ちの余裕という所が課題となる。	身体拘束につながる不適切ケアやグレイゾーンのケアについて、より理解を深めて一人ひとりが主役となる個別ケアを推進し、暮らしの継続を図る支援をしていく。	3か月に1回の身体拘束廃止委員会の実施とリーダーから外部研修へ参加し、職員への周知。可能であれば他の職員にも外部研修への参加をしてもらう。	6ヶ月
2	36	トイレ時の暗号化など、配慮している部分もあるがふとしたとき、時間に追われている時に、乱れてしまう所が課題となる。	本人の気持ちを大切に、スピーチロックの要因を掘り下げ解決策を見出し、利用者の尊厳と権利を守るケアを目指していく。	どんな時でもしっかり行えるよう、1秒待って気持ちの余裕をもつ。又、新しく入った職員に対しても尊厳をもった言葉掛けをしていると思ってもらえるようお互いに気を付けていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。